

<b>レナシル・PAC水和剤</b> <b>レナパック水和剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 北興*, 丸和  <b>原体メーカー：</b> FMC, 住商アグロ
<b>成分：</b> レナシル……………40.0% PAC〔PRTR・I種〕……………30.0%	<b>性状：</b> 類白色水和性粉末45μm以下 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】……………

●てんさいに選択性がある2つの有効成分の混合剤で、雑草発生前～発生始期処理で幅広い草種に高い効果を示す。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

●土壌処理効果が高いが、既発生の雑草を接触的に枯らすため、展着剤（レナテンなど）を加用すると効果を高める。

●薬液は十分かきまぜ、時々攪拌しながら散布する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

●砂地で水はけのよい畑では使用しない。

●雑草発生前（草丈3cm以下）に散布する。

●ツクサの発生の多い畑では使用しない。

●日本芝ではターフ形成前又は老質化した芝での使用はさける。また、傾斜地では薬量を少なめにして均一に散布する。

●散布ムラのないように均一に散布する。

●後作物に対して影響を及ぼすことがあるので注意する。特に、いね科、まめ科、うり科、なす科及びあぶらな科作物等では影響が認められているので、本剤処理後6カ月以内にこれらを後作物として栽培しない。

●使用後、容器や散布器具は十分水で洗う。

●適用作物（てんさい）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

●桑葉にかからないよう注意する（蚕毒）。

●藻類に影響を及ぼすので、使用時は注意。

●共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。



### 【適用と使用法】……………

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	レナシルを含む 農薬の使用回数	PACを含む農 薬の使用回数
			薬量	希釈水量				
てんさい (移植栽培)	畑 地 一年生 雑 草	定植活着後 中耕後 (雑草発生始期) (収穫60日前まで)	200 ～ 300 g	50 ～ 100 ℓ	2 回以内	雑草茎葉散 布又は全面 土壌散布	2 回以内	2 回以内
てんさい (直播栽培)		本葉2 葉期	200 g	100 ℓ				
		中耕後 (雑草発生始期) (収穫60日前まで)	200 ～ 300 g					
日 本 芝	一年生 雑 草	雑草発生前 ～始期		200 ～ 300 ℓ		全面土壌 散布		